

令和6年度 公益社団法人大学コンソーシアム石川 事業計画の実施状況

I 教務学生事業＜教務学生専門部会＞

1 シティカレッジ単位互換事業【自主事業】

「いしかわシティカレッジにおける単位互換等に関する包括協定書」に基づき、学生の履修機会の拡大や県民に対する生涯学習の機会を提供

授業形態は、オンライン授業を拡充し利便性を図り、各高等教育機関の魅力ある授業（オンライン科目全ての科目について）の全国展開を実施

① 授業科目数

年 度	合 計	前期開講科目	後期開講科目	通年科目
6 年度	9 8 (4 7)	4 8 (2 1)	5 0 (2 6)	0
5 年度	1 0 3 (4 8)	5 3 (2 5)	5 0 (2 3)	0

※表内の（ ）は、シティカレッジ開講科目数（内数）を示す。

② 受講者数（2/10 最終）

年 度	合 計	学 生	社会人 〔シティカレッジ〕	前年比
6 年度前期	2, 1 3 4 (2 2 8)	2, 1 0 6 (2 0 0)	2 8	+ 5 1 1
6 年度後期	1, 6 2 1 (5 9 9)	1, 4 1 7 (3 9 5)	2 0 4	+ 2 4 5
6 年度計	3, 7 6 4 (8 2 7)	3, 5 3 2 (5 9 5)	2 3 2	+ 7 5 6
5 年度前期	1, 6 3 2 (2 7 2)	1, 5 1 8 (1 5 8)	1 1 4	- 3 7 1
5 年度後期	1, 3 7 6 (3 1 8)	1, 3 0 3 (2 4 5)	7 3	+ 8 7
5 年度計	3, 0 0 8 (5 9 0)	2, 8 2 1 (4 0 3)	1 8 7	- 2 8 4

※表内の（ ）は、シティカレッジ受講者数（内数）を示す。

（前期）

・シティカレッジ

開講予定科目数：21科目 → 19科目開講

以下の2科目は、申込み者が3名以下で未開講

麴の科学（金沢工業大学）

マーケティング（北陸学院大学）

・提供機関開講科目

開講予定科目数：27科目 → 26科目開講（受講生なし1科目）

・各高等教育機関の魅力ある授業の全国展開を実施

提供授業科目は10科目、県外からの受講はなし

（後期）

・シティカレッジ

開講予定科目数：26科目 → 25科目開講

以下の1科目は、申込み者が3名以下で未開講

歴史学（金城大学短期大学部）

・提供機関開講科目

開講予定科目数：24科目

・各高等教育機関の魅力ある授業の全国展開を実施中

提供授業科目は13科目

「はたらく人のための健康と環境」については新潟県1（計1名）

「石川県の市町」については、京都府1、広島県1、大阪府2、奈良県1、東京都3、熊本県3（計11名）

「石川県の行政 いしかわの行政が目指すもの」については、

宮城県2、京都府1、広島県1、三重県1、滋賀県2、新潟県2、長野県1、東京都4、

奈良県 1、富山県 2、兵庫県 1（計 18 名）

同時開催：令和 6 年度 能登半島地震復興支援セミナー（第 7 回）

令和 6 年 10 月 12 日（土）（計 64 名）

宮城県 1、福島県 1、栃木県 1、埼玉県 1、千葉県 1、東京都 4、
神奈川県 1、富山県 1、福井県 2、山梨県 1、静岡県 3、三重県 1、
京都府 2、大阪府 4、兵庫県 8、広島県 2、熊本県 10、沖縄県 1

「生命倫理学」については、宮崎県 1、新潟県 1（計 2 名）

また、授業の全国展開に関連し、他県の大学コンソーシアムとの広域単位互換制度への参加
に関し検討を実施した。

2 ●教育支援センター事業【自主事業】

いしかわシティカレッジ授業の質向上のため、ICT 教育に係る情報技術・システムの支援、基
幹システムである「UC I ポータル」や Web サイト等各種システムの運用・サポートを実施

Web 会議ツールを使用し、パソコン・スマホ・タブレットなどから受講が可能となる Web 配信授業
を実施している（令和 4 年度後期から、Web 会議ツールの同時接続数を強化）。

また、UCI ポータルの情報基盤の更新期限を見据え、令和 5 年度から令和 6 年度にかけて、UC I
ポータルシステムを構築した。

加えて大学コンソーシアム石川の HP のリニューアル（令和 7 年度稼働予定）を検討する。

【オンライン授業に向けての整備内容等】

パソコン、Zoom ライセンス更新、Formzu ライセンス更新、ポケットWi-Fi 更新、Google Cloud
Platform (GCP) 増強等

令和 6 年度シティカレッジ授業 授業形態別 科目数内訳（集中講義除く、開講のみ）

	対面授業	オンライン 授業	対面・オンライ ン併用	計
6 年度 前期	1 1	6	4	2 1
6 年度 後期	1 2	5	9	2 6
計	2 3	1 1	1 3	4 7

3 金沢・いしかわフィールドワーク事業【自主事業】

シティカレッジ単位互換事業の授業の魅力向上のため、金沢市及び県内にある歴史・文化施設、企
業、自然、歴史遺産等の資産を活用し、フィールドワークを交えた実践型・体験型の授業を推奨・支
援

他大学生にも開放するフィールドワーク型授業・個別プログラム（学都プログラムのスタンダード
リスト掲載分）による県内の諸資産を活用した実践型・体験型授業を支援

機 関 名	科目名・プログラム名	開 講 時 期
なし	なし	なし

※令和 5 年度は 1 件

4 兼六園周辺文化施設の「学生のまちパスポート」事業【石川県・金沢市との連携事業】

「学都石川」の機運醸成と学生による中心市街地の活性化を目的に、石川県と金沢市が連携し、
新入生が兼六園周辺の県・市の文化施設に 1 年間無料入館できるパスポートを発行

令和 7 年度以降において、あり方、発行経費の削減等について検討する。

→ デザインを学生アルバイトに委託、印刷業者を変更、配付作業等を見直すことにより経費を
削減

利用者数 3,933 人（12 月末現在）（令和 5 年度 5,118 人）

5 障がい学生等支援共同サポートセンター事業【自主事業】

各高等教育機関の障がい学生支援を支える事業として、各高等教育機関の障がい学生支援事業をサ
ポートする啓発セミナーや障がい学生及び卒業生の集い等を実施

実施日時	テーマ	講 師	参加者数
令和 6 年 8 月 30 日（金） 10：00～12：00	第 15 回障がい学生支援に関 する情報交換会	—	1 2

令和7年2月20日(木) 10:00~12:00	第17回障がい学生支援セミナー 障害者差別解消法に基づいた学生支援	放送大学 教授 川島 聡	65
-----------------------------	--------------------------------------	-----------------	----

6 イベント参加

イベント名：金沢プライドウィーク2024（昨年度に引き続き出展）

実施日：令和6年10月20日（日）

場所：しいのき緑地

内容：金沢美術工芸大学

学生による「クィア・ワークショップ」（今回は俳句づくり）や学生サークルの「ピースオブケーキ」活動紹介

公立小松大学

LGBTQ+に関する取組み紹介

北陸大学

社会学・ジェンダー論が専門の相原 征代先生のゼミの紹介、学生が取り組んでいる卒業研究の紹介

II 情報発信事業＜情報発信専門部会＞

1 広報事業【自主事業】

「大学コンソーシアム石川概要」、「石川の大学ガイドブック」などの広報誌を発行。また、広報活動の強化及びホームページを充実。

①石川「県の大学ガイドブック2024」の発行：令和6年5月

②「大学コンソーシアム石川（概要パンフレット）」の発行：令和6年6月

③ホームページの充実

2 石川県高大連携セミナー事業【自主事業】

高等学校の教員と高等教育機関の教員・入試広報担当者との間で、高校教育及び大学等の教育研究内容等について相互理解を深める場を開催

セミナー名：石川県高大連携セミナー2024

実施日：令和6年10月11日（金）15時00分～16時10分

場所：石川県教員総合研修センター大研修室

内容：「金沢大学の多様な特色ある入試と教育について」

金沢大学 本所 恵 准教授

「自律的な学習へ動機づける双方向性コミュニケーション授業の実践」

石川県立看護大学 垣花 渉 教授

参加者：高等学校56名 高等教育機関9名

3 出張オープンキャンパス事業【自主事業】

県内の高等教育機関で学ぶ意義について情報発信するため、高等教育機関が連携して北陸3県の高等学校及び石川県内の中学校へ出向き、模擬授業を実施

実施校	実施日	出席者	派遣高等教育機関	講座数
星稜高等学校	5/25	89	金沢大学（2） 北陸大学（1） 北陸学院大学（1）	4
	6/22	100	公立小松大学（1） 金沢星稜大学女子短期大学部（2）	3
	7/13	170	金沢大学（3） 金沢美術工芸大学（1） 公立小松大学（1）	8

			北陸大学 (2) 北陸学院大学 (1)	
	9 / 2 1	1 0 5	北陸先端科学技術大学院大学 (1) 石川県立看護大学 (1) 金城大学 (1) 北陸学院大学 (1) 金沢星稜大学女子短期大学部 (1)	5
	1 0 / 1 9	3 5	北陸大学 (3)	3
	1 1 / 2	1 6	金沢大学 (1)	1
	1 2 / 1 4	9	金沢大学 (1)	1
福井県立武生高等学校	7 / 1 0	1 0 8	金沢大学 (2) 北陸大学 (1)	3
石川県立野々市明倫高等学校	7 / 1 2	1 3 7	金沢大学 (5)	<u>6</u>
福井県立敦賀高等学校	7 / 2 2	3 9	公立小松大学 (2) 金沢大学 (1)	<u>6</u>
富山県立八尾高等学校	9 / 2 0	6 7	金沢星稜大学 (1) 北陸大学 (1)	2
石川県立輪島高等学校	1 0 / 1	1 0	金沢大学 (1)	<u>2</u>
富山県立石動高等学校	1 0 / 2 2	1 5 7	金沢星稜大学女子短期大学部 (1)	1
石川県立羽咋高等学校	1 1 / 2 1	2 9 6	金沢大学 (6)	<u>1 2</u>
仁愛女子高等学校	1 1 / 2 2	1 3 3	金沢大学 (1) 北陸大学 (1)	<u>4</u>
富山県立呉羽高等学校	1 2 / 4	2 4 2	金沢大学 (4) 石川県立大学 (2) 金沢学院大学 (3)	9
富山県立高岡南高等学校	1 / 2 1	9 2	金沢大学 (2) 金沢星稜大学 (1) 金沢学院大学 (1)	4
石川県立金沢錦丘中学校	2 / 1 8	(7 2 0)	金沢大学 (1) 北陸先端科学技術大学院大学 (1) 石川県立看護大学 (1) 石川県立大学 (1) 金沢美術工芸大学 (1) 金沢工業大学 (1) 金沢星稜大学 (2) 北陸大学 (1) 金沢学院大学 (3) 北陸学院大学 (1)	<u>2 6</u>

延べ18校 (20) ※

※括弧は前年度実績

延べ 100講座 (77講座) ※

講座数に下線があるのは同一講義を2回実施

4 学都石川魅力発信推進事業【石川県補助金事業】

4-1 SNSを活用したPR強化

インスタグラムを活用し、県内の大学紹介やオープンキャンパス情報の投稿と、広告実施
 広告実施期間：令和6年6月1日(土)～8月31日(土) (91日間)

対 象 年 齢：35～55歳の男女 (保護者層)

広 告 種 類：AD 1（アンケート広告）、AD 2（動画広告）

発 信 地 域：関西・東海・中部

大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀、静岡、愛知、三重、岐阜、長野、新潟
富山、福井 ※AD1 のみ石川追加

4-2 県外高校の教員招聘

学生獲得の決定打となるよう、学都石川の伝統や先進性に磨きをかけて県内外に積極的に発信する。県外の高校教員を招聘し、大学等の特徴の紹介、施設の案内、充実した石川県の学びの環境、生活環境の紹介及び、情報交換会を実施する。（対象地域：石川を除く中部・関西・東海）

名 称：「学都石川」教員向けキャンパスツアー

実施日：令和6年10月2日(水)、3日(木)の1泊2日

参加者：48名

参加教員の高校所在地：

新潟、富山、福井、長野、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良

対応大学：金沢大学、石川県立看護大学、石川県立大学、金沢美術工芸大学、金沢工業大学、金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部、北陸大学、金沢学院大学・金沢学院短期大学、金城大学・金城大学短期大学部、かなざわ食マネジメント専門職大学、公立小松大学(情報交換会)

5 文化系芸術祭の開催【自主事業】

文化系学生の学びを公開、情報発信するとともに、大学コンソーシアム石川会員機関の学生間の交流の場として、文科系芸術祭「学都石川」まちなか芸術祭を開催。なお、今年度は、学生の部に加え、高等教育機関の部を設けて開催し、県民へ高等教育機関を紹介

【企 画】金沢美術工芸大学生(サポート：金沢大学生)

【開 催 期 間】令和6年12月6日(金)～8日(日)

【会 場】しいのき迎賓館

学生作品展示 ギャラリーA・イベントホール

高等教育機関の部展示 ギャラリーB

ワークショップ・ミニコンサート ししいのきプラザ

【参加大学数】学生の部：金沢大学、金沢美術工芸大学、金沢学院大学、北陸大学

高等教育機関の部：金沢大学、北陸先端科学技術大学院大学、石川県立看護大学、金沢美術工芸大学、公立小松大学、金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部、金沢医科大学、北陸大学、金沢学院大学・金沢学院短期大学、金城大学短期大学部、北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部、かなざわ食マネジメント専門職大学

【参加学生数】39名（出展、搬入、展示作業、在廊、ワークショップ、ミニコンサート出演、撤収作業等）

【学生作品数】46（絵画・彫刻・工芸・映像・インスタレーション）

【来 場 者 数】ギャラリーA（6日～8日）323名

ギャラリーB（6日～8日）276名

イベントホール（6日～8日）218名

ワークショップ参加（7日）35名

ミニコンサート観客（8日）50名

【広 報】石川県「いしかわの文化」イベント登録

「いしかわスタイル」「金沢日和」情報掲載

12月5日(木)MRO ラジオ『おいね☆どいね』中継

12月6日(金)テレビ金沢 ニュース

12月7日(金)北國新聞朝刊・北陸中日新聞朝刊 掲載

Ⅲ 地域連携事業＜地域連携専門部会＞

1 大学・地域連携アクティブフォーラム開催事業【自主事業】

地域課題研究ゼミナール支援事業「地域共創支援枠」・「地域課題発掘枠」、「復興課題枠」合同活動報告会を開催

日 時：令和7年2月22日（土）9時30分～17時

午前の部 地域共創支援枠・地域課題発掘枠

午後の部 復興課題枠

場 所：金沢市文化ホール（オンライン同時配信）

参加者：学生、教職員、審査員、自治体・地域関係者等

コメンテーター：午前 加茂谷 慎治 株式会社 エイチツーオー代表取締役

午後 岩城慶太郎 アステナホールディングス株式会社取締役

2 高等教育機関及び学生による地域貢献活動の実態調査事業【自主事業】

県内における高等教育機関・学生等による地域貢献活動の実態調査を行い、その結果を広く活用していただけるよう、データベース化しホームページで公開

令和6年能登半島地震を考慮し取り止めとした令和5年度分調査と令和6年度分を併せて実施予定で、令和7年3月に高等教育機関、市町の担当者にデータ提出依頼中で、随時ホームページで公開予定

3 地域課題研究ゼミナール支援事業【石川県委託事業】

県内の高等教育機関のゼミや学生グループ等と地域団体等が、教育資質の向上と地域の活性化のため、連携して行う地域課題解決のための活動を支援する事業を行う。「地域からの要望」については、今年度より県内に本社や事業所がある地元企業単体での申請も可能とする。

また、令和6年能登半島地震からの復旧復興を推進するため、6月県議会で300万円の追加補正予算が組まれたため「復興課題枠」を新たに新設し実施する。申請手順・募集要項等は既存のものに準ずる。

①地域共創支援枠

地域団体等と共に活動の計画・目標を定め、ワークショップ等を地域で実際に実施し、明確なアウトプットの達成を目的とした取組みに対して支援

②地域課題発掘枠

フィールドワーク調査等により、提示された課題や、掘り起こした課題の解決・活性化策を検討するなど、実際の地域活動の入り口部分について提案し、その促進を図る取組みに対して支援

③復興課題枠

令和6年能登半島地震からの復旧復興を目的とした取組みに対して支援

地域共創支援枠 採択一覧（7件）＜新規4件、継続3件＞

No.	市町名	連携する 地域団体等	課題名（テーマ）	新規/継続	申請高等教育機関・ 指導担当教員
1	野々市市	野々市市役所	ICTを活用したコミュニティバス等の情報発信	4年計画 /5年目	金沢工業大学 向井宏明
2	野々市市 白山市	野々市市役所 白山市役所	お薬から見る健康づくり 高齢者医療費抑制に向けた医薬品適正使用の推進	2年計画 /3年目	金沢大学 菅幸生、石田奈津子
3	白山市	白山手取川 ジオパーク 推進協議会	金沢への外国人観光客に白山手取川ジオパーク へ足を延ばしてもらうための具体的な計画立案	1年計画 /3年目	北陸学院大学 木村ゆかり、富岡和久
4	小松市	小松市 埋蔵文化財 センター	「加賀立国 1200年」を契機とした地域の歴史 PRと学びの場創出	3年計画 /4年目	金沢学院大学 戸根比呂子
5	金沢市	Inochi Gakusei Innovators' Program HOKURIKU	既存の地域の医療体制では解決 しきれないヘルスケア課題が存在する	1年計画 /3年目	金沢大学 米田隆、米谷充弘
6	白山市	白山市役所	女性活躍の推進に関する実践	1年計画 /3年目	金城大学 齊藤実洋、寒河江雅 彦、平子紘平

7	白山市	e-CRUTTO	観光資源としての手取キャニオンロード自転車道とその可能性の再発見	1年計画 / 1年目	金城大学短期大学部 矢澤建明
地域課題発掘枠 採択一覧（2件）					
No.	市町名	連携する 地域団体等	課題名（テーマ）	申請高等教育機関・ 指導担当教員	
1	金沢市	三谷文化保護 協議会	念仏踊り（地域のお宝）の保存と継承	北陸大学 伊藤梢、福江充	
2	白山市	白山市役所	家庭で始めるエシカル消費の促進	北陸大学 志田義寧	
復興課題枠 採択一覧（10件）					
No.	市町名	連携する 地域団体等	課題名（テーマ）	新規/継 続	申請高等教育機関・ 指導担当教員
1	穴水町	穴水町役場	被災高齢者等の健康管理	1年計画 / 3年目	石川県立看護大学 垣花渉、佐能唯
2	珠洲市	栗津自彊団	キリコ祭り（秋祭り）の文化の継続・継承	3年計画 / 3年目	石川県立大学 長野峻介 金沢大学 小林秀輝
3	金沢市	おおくわこども 食堂	こども食堂の認知と充足率の向上	3年計画 / 5年目	金沢学院大学 広根礼子
4	中能登町	中能登町役場	どぶろくの魅力発信プロジェクト	1年計画 / 2年目	北陸先端科学技術大学 院大学 島田淳一 金沢工業大学 村山祐子
5	金沢市	第3職員室	能登半島地震におけるこども支援及び 中高生の居場所作りにおける調査と検証	1年計画 / 3年目	北陸大学 田尻慎太郎
6	七尾市	きたまえ JAPAN	七尾市の人口減少と能登地域の衰退	3年計画 / 5年目	金沢大学 松島大輔
7	能登町	能登みらい創造 ネットワーク	奥能登観光資源の創造的復興のモデルケースづくり	2年計画 / 3年目	石川工業高等専門学校 豊島祐樹 金沢工業大学 片桐由希子
8	宝達志 水町	宝達志水町役場	知恵と科学に基づいた避難所施設の安全性・利便性	1年計画 / 3年目	石川県立看護大学 松田幸久
9	能登町	春蘭の里	過疎高齢化と震災による地域の人口減少と地域住 民の活力の低下	1年計画 / 3年目	金沢星稷大学 神崎淳子
10	金沢市	NPO エコラボ	石川県における地域防災力の向上	1年計画 / 1年目	金沢大学 原田魁成

4 石川未来プロジェクト事業【自主事業】

県内大学等の学生が、所属・学年を超えて石川県の未来を見据えて今すべきことの共通テーマ「未来テーマ：（「石川でよかった！ー幸せの街、石川ー」）」にプロジェクトチームで取り組む。

コーディネーター（教員）が各プロジェクトチームのプロジェクト遂行のサポートを行う。令和6年度は、6機関9名の応募があり、定員数に満たないこと、応募者全員の熱意がうかがえることから全員を採択

また、今年度は、学生がより自主的な活動することを念頭に、専任のコーディネーターを設けず、地域連携専門部会の委員でサポートグループを編成し、持ちまわりでチームをサポートする（2チームを18名の委員でサポートする。）

※ ミーティングの場所は、しいのき迎賓館3F セミナールームB を基本（対面）とする。

※ サポート教員は持ち回りですが、チームの決まった相談窓口として新部会長、敷田副部会長で進める。

◆キックオフ講義

開催日時：令和 6 年 5 月 25 日（土）14:00～15:30

場 所：石川県政記念 しいのき迎賓館 3F セミナールームB

テーマ：「プロジェクトマネジメント」

概 要：基本的な知識、リーダーシップ、プロジェクト活動のマネジメントについて

講 師：金沢工業大学 教育点検評価部長・教授 山岸 邦彰

◆オリエンテーション

開催日時：令和 6 年 5 月 25 日（土） 15:30～17:00

場 所：石川県政記念 しいのき迎賓館 3F セミナールームB

内 容：今後の活動の進め方や、活動経費予算、各種事務手続き、について等

◆チーム、教員コアタイムミーティング（6月～2月）

地域連携専門部会の委員でサポートグループを編成し、持ちまわりでチームをサポート。

◆中間報告会

開催日時：令和 6 年 7 月 27 日（土）10:00～12:00

場 所：北陸先端科学技術大学院大学の金沢駅前オフィス（ポルテ金沢 9 階）

内 容：チームごとの活動報告（チーム紹介、テーマ、活動計画、活動状況など）とディスカッション、全体を通しての質疑、来場者からのご示唆 等

◆成果報告会

日 時：令和 7 年 1 月 18 日（土）10:00～12:00

場 所：しいのき迎賓館セミナールームA

◆石川未来会議

日 時：令和 7 年 2 月 15 日（土）9:30～11:30

場 所：金沢商工会議所会館 2F（石川県金沢市尾山町 9-13）

オンライン同時配信（Zoom）

ゲスト：馳 浩 石川県知事、永井 三岐子 公益財団法人ほくりくみらい基金代表理事

IV 教職員研修に係る事業＜教職員研修専門部会＞

1 教職員研修（FD・SD）事業【自主事業】

先進的な取組みを進めている大学等の事例、大学教育・管理運営等についての基本的な考え方などを講演できる学識者を招聘し、教職員を対象に研修事業を実施する。

実施日	テーマ	講師名等	参加者
7 月 4 日(木) 14:00～16:00	文理融合・STEAM 教育に関連した授業設計とは ～教養教育、専門教育など多様な視点から考える～	金沢大学 令和6 年度第 2 回全学 FD 研修会との共催	開催案内のみ
9 月 14 日(土) 10:30～11:30	サステナビリティ時代の大学の持続的成長戦略を考える ーイノベーション、サステナビリティと地域貢献の統合化を目指してー	金城大学 総合経済学部 古賀智敏 教授	17
9 月 27 日(金) 14:00～16:00	イシューベースラーニングのすすめ ～課題解決力や実践力を鍛えるための授業設計～	金沢大学 令和6 年度第 3 回全学 FD 研修会との共催	開催案内のみ
10 月 5 日(土) 13:00～14:30	心身の健康に役立つマインドフルネスとセルフ・コンパッション(好奇心に満ちた気づきと自分に対する思いやり)	石川県立看護大学 小児看護学分野 戸部浩美 教授	20
10 月 11 日(金) 15:00～16:30	金沢工業大学における教育ビックデータの分析とその活用	金沢工業大学 山本知仁 教授	53
11 月 20 日(水) 13:30～15:00	データマネジメントプラン（DMP）から始まる研究データ管理と活用	金沢大学 学術メディア創生センター長 笠原禎也 教授	52

令和 5 年度は、6 回の研修会を開催し教員 102 名、職員 87 名、計 189 名が参加

V 産学官連携人材育成に係る事業＜産学官連携人材育成専門部会＞

1 学都いしかわグローバル人材育成支援制度【寄附】

日本人留学生・外国人留学生と企業をつなぎ、石川のグローバル化を総合的に支援することを目的に、以下のプログラムを実施

- ① Take-Off Program（日本人学生の留学支援）
石川県の地域活性化に寄与しようとする意欲ある学生の実践的な留学を支援し、グローバルな知識と能力を高め、地域企業が求める人財として育成
- ② Landing Program（外国人留学生の地元定着等）
石川県で学ぶ外国人留学生が石川県内の企業に就職することを支援
- ③ Global exchange（グローバルカフェ） Program（日本人留学生・外国人留学生と企業を繋ぐ）
石川県内のグローバル情報の共有と就職希望者の情報の共有等を支援

＜Take-Off Program（日本人学生の留学支援）＞

・スケジュール

一次審査（書類選考）・第1回選考会：令和6年5月1日（水）10：00～11：00

開催形式：オンライン

二次審査（面接等）・第2回選考会：令和6年6月2日（日）13：30～16：10

開催形式：対面

二次審査 13：30～15：30

選考委員会 15：35～16：10

- ・応募人数：2名
- ・採用人数：1名
- ・派遣予定先：イギリス、フィリピン、シンガポール、タイ
- ・留学期間：令和6年8月～令和7年1月 ※途中、1か月程度帰国期間有

[壮行会・いしかわグローバルカフェ]

- ・日 時：令和6年7月15日（月）13：30～15：30
- ・場 所：石川県政記念しいのき迎賓館3F セミナールームA
- ・参加人数：23名、ビデオメッセージ2名

[事前研修]

- ・日 時：令和6年7月15日（月）15：40～16：30
- ・場 所：石川県政記念しいのき迎賓館3F セミナールームA
- ・参加人数：7名（内、トビタテ卒業生4名）

[協賛企業寄附依頼]

11月から令和7年度募集に向けて協賛企業に現状報告とともに寄附依頼を開始

[報告会]

- ・令和7年3月3日

[その他]

- ・より多くの応募者を確保するため、申請時期、応募条件等の見直しを行った。

2 学都いしかわグローバルチャレンジプログラム

学都いしかわ課題解決型グローバル人材育成プログラムを継承し、各大学の教育目標を超えた視点で、大学間の連携や地域との共創を促進するプログラムを実施

令和6年度学都いしかわグローバルチャレンジプログラムの適用科目（5大学8プログラム）

- ・（継続）金沢大学 地域創造学類 ローカルチャレンジプログラム
- ・（継続）金沢大学 地域創造学類 グローバルチャレンジプログラム
- ・（継続）金沢大学 国際学類 グローバルチャレンジプログラム
- ・（継続）石川県立看護大学 ローカルチャレンジプログラム
- ・（継続）石川県立看護大学 グローバルチャレンジプログラム
- ・（継続）石川県立大学 ローカルチャレンジプログラム
- ・（継続）金城大学 ローカルチャレンジプログラム
- ・（継続）石川工業高等専門学校 ローカルチャレンジプログラム

3 学都いしかわエクスターンシッププログラム

高等教育機関側から教育的インターンシップを企業に依頼する形式ではなく、企業が中心となって実施する就業体験に、教育的要素を付加する形式として実施する。就業活動を通し社会人として必要な能力を高め、自主的に考え行動できる人材を育成

- ① いしかわインターンシップ&仕事研究フェス 2024 参加
令和6年5月11日（土）
- ② エクスターンシップ認定申請企業説明会
 - ・第1回：令和6年4月26日（金） 2社
 - ・第2回：令和6年5月1日（水） 2社
 - ・第3回：令和6年5月2日（木） 2社
 - ・第4回：令和6年6月21日（金） 3社
 - ・個別説明会：令和6年8月26日（月） 1社
- ③ 事前研修
 - ・実施日：8月9日（金）
 - ・参加人数：2名 金沢大学、北陸大学
- ④ 学生実習プログラム
 - ・実施企業数：1社
 - ・実施学生数：2名
- ⑤ 申請及び認定企業
 - ・申請企業数：10社
 - ・認定企業数：10社

VI 能登半島地震復興に関する事業＜専門部会共通＞

1 能登半島地震復興支援セミナーの開催

令和5年度第5回理事会（令和6年3月11日開催）でセミナーの開催に関し承認されたことを受け、6月8日から開始

- 第1回 6月8日 創造的人間復興
澤 信俊（金沢星稜大学名誉教授）
- 第2回 6月10日 被災地の現状と被災者支援のこれから
田中 純一（北陸学院大学社会学部社会学科教授）
- 第3回 6月12日 災害時の子ども支援を学ぶ
山田 心健（公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
国内事業部プログラムマネージャー）
- 第4回 7月19日 令和6年能登半島地震による津波被害調査報告
郷右近 英臣（北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術専攻准教授）
- 第5回 7月27日 農業・農村地域の復興課題
山下 良平（石川県立大学環境科学科里山里海創生系准教授）
- 第6回 8月22日 災害時における薬剤師の活動と再建・復興に向けた課題
岡田 守弘（北陸大学薬学部実践実学系准教授）
- 第7回 10月12日 石川県創造的復興プランについて
杉本 拓哉（石川県能登半島地震復旧・復興推進部
創造的復興推進課課長補佐）
- 第8回 10月23日 備えない防災「フェーズフリー」
秦 康範（日本大学危機管理学部教授）
- 第9回 11月13日 令和6年能登半島地震における建築被害の特徴とこれからの防災まちづくり
山中 新太郎（日本大学理工学部建築学科教授）
- 第10回 11月28日 防災と復興のリスクコミュニケーション
福田 充（日本大学危機管理学部教授）
- 第11回 12月19日 世界農業遺産「能登の里山里海」と断水時の井戸水の利用について
小山 明子（国連大学 サステイナビリティ高等研究所いしかわ・かなざ
わオペレーティング・ユニット（UNU-IAS OUIK）研究員）
- 第12回 12月20日 令和6年能登半島地震における観光資源被害調査報告と創造的復興
川澄 厚志（金沢大学融合研究域融合科学系准教授）

2 学都いしかわ防災・復興ネットワークの設置等

令和6年度第2回理事会（書面附議）で学都いしかわ防災・復興ネットワークの設置が承認され、8月10日に「学都いしかわ防災・復興ネットワーク キックオフシンポジウム」が開催された。

また、後述の全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムのポスターセッション、11/13 に開催された MatchingHub（北陸先端科学技術大学院大学主催）において、本コンソーシアムの能登復旧・復興に関する取組みを紹介

さらに石川県からの要請に応じ、ボランティアの募集、被災した学生に対する奨学金などの通知を随時行うとともに、協力できる業務に関し、検討を行っている。

3 能登分室の設置

令和6年度臨時総会（書面附議）で能登地区における復旧・復興のための活動拠点の設置が承認され、8月26日よりのと里山空港ターミナルビル4階において「能登分室」の供用が開始された。

VII 管理・運営等関係総

1 総会等の開催

① 定時総会の開催

開催日：令和6年6月24日（月）

場所：金沢ニューグランドホテル

協議事項：・代表理事（会長・副会長）の選任について

・令和5年度事業報告及び収支決算について

・令和6年度事業計画及び収支予算について

・学都いしかわ防災・復興ネットワーク」の設置について

・シティカレッジ授業の全国展開について

・石川未来プロジェクトについて

・学都いしかわグローバル人材育成支援制度について

② 理事会、運営委員会、専門部会の開催

大学コンソーシアム石川の定款に基づき、適宜開催

2 大学コンソーシアム石川の公益社団法人対応

令和6年度事業計画書等に係る提出書類

・事業計画（能登分室の設置に伴い、事業計画を変更）、収支予算書

令和5年度事業報告等に係る提出書類

・財産目録、役員等名簿、社員名簿、正味財産増減計算書、事業報告書、監査報告書、運営組織及び事業活動の状況の概要等、公益目的事業比率の算定総括表、納税証明書等

公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第27条第1項に基づく立入検査

・概ね良好

3 全国大学コンソーシアム協議会等への参加

全国大学コンソーシアム協議会の役員及び運営委員として、会の発展に寄与するとともに同会が開催する全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムに参加

全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム

開催日：令和6年9月7日（土）・8日（日）

場所：京都市立芸術大学キャンパス

・ポスターセッションに参加し、大学コンソーシアム石川の事業を紹介

4 その他

印刷物の発行部数の削減、ネット環境の見直し、留学生の地域交流に関する事業に対し、公募を行うなど、経費削減に努めている。

また、当コンソーシアムの活動を紹介するメールマガジンを発行し、広報活動に努めている。